

# 令和4年度農福連携取組実績及び令和5年度の農福連携施策について



高知県子ども・福祉政策部 地域福祉政策課、障害保健支援課  
農業振興部 環境農業推進課

# 令和4年度の各種施策の実績①

## 意識醸成・啓発

### ●農福連携サミット【R4年:3回】(環境農業推進課)

- |           |                 |                     |
|-----------|-----------------|---------------------|
| 令和5年1月12日 | 農福連携高知県サミットinあき | 参加者:43人             |
| 令和5年2月16日 | 農福連携研修会inなんこく   | 参加者:44人 (Web参加24ヶ所) |
| 令和5年3月1日  | 四万十町農福連携フォーラム   | 参加者:21人             |

### ●農福連携マルシェ【R4年:3回】(障害保健支援課)

- |              |                      |             |
|--------------|----------------------|-------------|
| 令和5年1月14、15日 | テイクアウトフェスタ (高知市中央公園) | 来場者:約8,000人 |
| 令和5年2月21、22日 | サニーアクシス南国店 (南国市)     | 来場者:約850人   |
| 令和5年3月18、19日 | とさのさとアグリコレット (高知市)   | 来場者:約4,000人 |

### ●農福連携リーフレット【R4年:20,000部】(障害保健支援課)

県内市町村、福祉事業所、社会福祉協議会、JA等に配布

### ●農作業体験会【R4年:10回】(環境農業推進課)

作業内容:野菜や果樹の摘葉、収穫、パック詰めなど 参加者:69人  
(高知市、南国市、須崎市など)

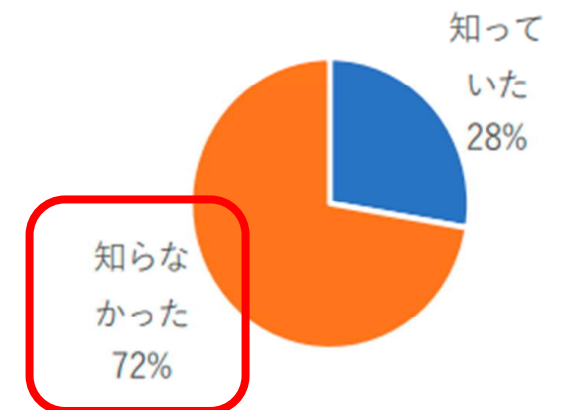
# 令和4年度農福連携マルシェ来場者アンケート（一部抜粋）

## イベント来場者アンケート／3月とさのさとアグリコレット

- アンケート調査日：2023年3月18日、19日
- アンケート実施場所：とさのさとアグリコレット
- 回答者数：141人

### 1. 「農福連携」という言葉を知っていましたか？

知っていた	39
知らなかった	102



# 令和4年度の各種施策の実績②

## 職業準備・マッチング支援

### <<施設外就労>>

- **農福連携促進コーディネーター**(障害保健支援課)  
訪問事業所等数:287件、マッチング:6件

### <<一般就労>>

- **就労体験拠点設置事業**(障害保健支援課)  
就労体験:23件
- **就労体験拠点設置事業**(地域福祉政策課)  
就労体験:14件
- **実践能力習得訓練**(障害保健支援課)  
訓練生(農福関係):1人  
(うち修了:1人、雇用:1人)
- **試行就労受入体験**(環境農業推進課)  
対象者:3人
- **生活困窮者就労準備支援事業**(地域福祉政策課)  
就労体験:2件

## 定着支援

- **農福連携就労定着サポーター**(環境農業推進課)  
サポート対象:5件  
サポート回数:25回

## 人材育成

- **農業版ジョブコーチ育成研修**(環境農業推進課)  
10月6日~16日 座学研修 (eラーニング)  
10月20、21、24、25日 実地研修  
農福連携技術支援者認定:18人

こうち農福

# これまでの農福連携の実績 (H30～R4)

(単位:人)

農振センター ・普及所単位	農業者等										JA集出荷場										その他					合計				
	直接雇用(※1)					施設外就労(※2)					直接雇用(※1)					施設外就労(※2)														
	H31.1	R2.3	R3.3	R4.3	R5.3	H31.1	R2.3	R3.3	R4.3	R5.3	H31.1	R2.3	R3.3	R4.3	R5.3	H31.1	R2.3	R3.3	R4.3	R5.3	H31.1	R2.3	R3.3	R4.3	R5.3	H31.1	R2.3	R3.3	R4.3	R5.3
1 安芸	23	48	34	45	39	0	0	2	9	1	0	0	0	9	12	0	2	3	23	11	7	16	41	48	40	30	66	80	134	103
2 中央東	1	5	11	20	20	5	15	18	18	61	0	0	0	5	11	0	0	3	3	3	6	5	6	0	0	12	25	38	46	95
3 嶺北	0	0	0	2	1	15	23	31	24	14	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15	23	31	27	16
4 中央西	1	3	2	3	2	0	0	0	13	2	0	0	0	2	2	10	10	11	6	0	0	1	1	0	0	11	14	14	24	6
5 高知	3	7	12	7	6	41	63	95	132	161	5	6	6	4	3	0	0	4	17	33	0	0	0	0	0	49	76	117	160	203
6 高吾	0	3	4	3	24	30	44	48	75	57	0	1	1	2	1	3	2	5	6	5	0	0	0	0	0	33	50	58	86	87
7 須崎	1	1	1	1	1	5	5	33	14	7	0	0	0	4	3	36	36	39	6	6	0	0	1	0	0	42	42	74	25	17
8 高南	0	0	1	1	1	32	36	29	39	18	0	0	0	0	1	5	5	5	0	0	0	0	0	0	0	37	41	35	40	20
9 幡多	0	0	0	3	8	34	63	47	20	35	0	0	0	0	0	0	0	8	23	4	0	0	0	0	0	34	63	55	46	47
合計	29	67	65	85	102	162	249	303	344	356	5	7	7	27	34	54	55	78	84	62	13	22	49	48	40	263	400	502	588	594

※1:障害のある人等が農業者等に就職して、労働契約を結んで働く。

※2:障害のある人と就労継続支援事業所の職業指導員がユニットを組み、請け負った農作業を現地で行う。

- ・農業分野で就労する障害者等は、ほぼ横ばい。
- ・施設内就労で農産物の袋詰め等に取り組む就労継続支援事業所数は微増であるが、従事者数は大幅に増加。

**※施設内就労の推進により農業分野における労働力の確保及び障害のある人の就労の場の確保が有効と考えられる。**

# 令和5年度の各種施策①

## 意識醸成・啓発

- **農福連携サミット【R5年:5回】**(環境農業推進課)  
農業関係者及び福祉関係者をはじめとする多くの県民に農福連携の取組を理解してもらうとともに、関心を深めてもらうため、有識者による講演や実際に農福連携に取り組む農家等による事例発表等を実施する。
- **農作業体験会【R5年:15回】**(環境農業推進課)  
実際の農作業を障害者等が体験することで、作業内容の理解につなげる。
- **農福連携マルシェ【R5年:1回】**(障害保健支援課)  
農福連携について県民への普及啓発を図り、障害者等の農業分野への就労促進を図るとともに商品の販路拡大や障害者の工賃向上につなげる。
- 新** **地域共生社会フェスタ農福連携分科会【R5年:1回】**(障害保健支援課)  
県民の高知型地域共生社会への理解促進と参画意識の啓発を目的として10月7日に開催予定の地域共生社会フェスタにおいて、農福連携の意義等について県民の理解を深め、取り組みを広げるきっかけとして農福連携分科会を開催する。
- 新** **農福連携推進フォーラム【R5年:1回】**(障害保健支援課)  
農福連携の取り組みの拡大に向けて、農福連携の取り組みに興味はあるものの実施には至っていない農業者や福祉関係者をメインターゲットとして開催するもので、ゲストによる基調講演やパネルディスカッションを実施する。

※そのほか、優良事例を紹介する冊子を作成予定。



# 令和5年度の各種施策②

## 職業準備・マッチング支援

### ＜＜施設外就労＞＞

- **農福連携促進コーディネーター【R5年:3カ所】**(障害保健支援課)  
農家等と就労継続支援事業所による作業請負のマッチング等を支援する。

### ＜＜一般就労＞＞

- **就労体験拠点設置事業【R5年:3カ所】**(障害保健支援課)  
就労体験を通じて、障害者に「働ける自信」を持っていただくことで、一般就労を目指す。
- **就労体験拠点設置事業【R5年:3カ所】**(地域福祉政策課)  
就労体験を通じて、ひきこもりの人等に「働ける自信」を持っていただくことで、一般就労を目指す。
- **実践能力習得訓練**(障害保健支援課)  
求職障害者を対象とした民間企業等での実践的な職業訓練を行う。
- **試行就労受入体験【R5年:12件】**(環境農業推進課)  
新たに障害者等の受入に理解を示した農家等が、試行的に障害者等を受け入れる場合にかかる経費を助成する。
- **生活困窮者就労準備支援事業**(地域福祉政策課)  
就労に向けた準備が整っていない生活困窮者に対して、就労に向けた準備として基礎能力の形成からの支援を実施する。

# 令和5年度の各種施策③

## 定着支援

- **農福連携就労定着サポーター**(環境農業推進課)

農業分野で就労した障害者等や障害者等を雇用した農家等への指導・助言を通じて、障害者等の就労定着を支援する。

## 人材育成

- **農業版ジョブコーチ育成研修**(環境農業推進課)

農業・福祉双方の専門知識を有し、農福連携を実践する手法を具体的に助言・指導できる専門人材を育成する。

9月:研修実施 (eラーニング:9/1~9/20、実地研修:9/21~22、25~26)

受講者:20名程度 ※各地区の農福連携支援会議構成メンバーほか、農福に携わる方・関心のある方等

## 農福連携支援会議等の活性化

- 新** **農福連携推進アドバイザー**(障害保健支援課)

農福連携の取り組みを推進するための知識や技術を有する農福連携の先進地域等の関係者をアドバイザーとして派遣し、地域の農福連携支援会議等の関係者に対して助言等を行う。

- 新** **農福連携スタディツアー**(障害保健支援課)

農福連携の取り組みの先進地を視察するツアーを開催し、先進事例の横展開や農業・福祉関係者の相互理解の促進を図る。



# 農福連携等推進ビジョン(一部抜粋)

農福連携を、農業分野における障害者の活躍促進の取組にとどまらず、ユニバーサルな取組として、農業だけでなく様々な産業に分野を広げるとともに、高齢者、生活困窮者、ひきこもりの状態にある者等の就労・社会参画支援、犯罪・非行をした者の立ち直り支援等にも対象を広げ、捉え直すことも重要である。

こうした農福連携等（農福連携を広く捉えた取組）は、平成27年に国連が定めたSDGs（持続可能な開発目標）の「すべての人のための持続的、包摂的かつ持続可能な経済成長及び働きがいのある人間らしい仕事の推進」にも通じる取組でもあり、障害者、高齢者等のすべての人々が地域で暮らし、生きがいを共に創り、高め合うことができる地域共生社会の実現に資する取組の一つでもある。



## 包括的な支援体制と農福連携について

農福連携は、包括的な支援の出口支援（就労支援）の一つとして有効。

- ①複合的な課題を抱えた人を断らない相談窓口で受け止める。
- ②多機関協働による支援チームや農福連携支援会議につなぐ。
- ③多機関が協働して支援策を検討し、多様な就労先や居場所につなぐ。



【社会福祉法（参考）】

■市町村の包括的な支援体制づくりが努力義務化（第106条の3）

■市町村の地域福祉計画に、包括的な支援体制の整備の事項を盛り込むことが努力義務化（第107条）

## 包括的な支援体制のイメージ(農福連携)

※以下イメージ中、「Point」に係る人員配置については、国の重層的支援体制整備事業による財政支援措置あり

